

# 2025年度下期活動報告について

2026/3/31

特定非営利活動法人・Oita Social Innovation Laboratory  
ファウンダー 兼 ITコーディネータ 齊藤 周作

撮影場所：大分県日田市大字大肥(今山)

# ご挨拶

## ～共創で挑む、新しい社会課題解決～

このたびは特定非営利活動法人 Oita Social Innovation Laboratory の活動にご関心をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

現在、大分県は人口減少に伴う担い手不足、地域経済の活力減退、VUCA(将来の予測が非常に困難な不安定な状況)へのリソース配分など、非常に多くの課題に直面しています。これらの課題は、従来のやり方では乗り越えられません。私たちは、この困難な時代だからこそ、地域課題を解決しつつ収益を生み出す「ソーシャル・イノベーション」が必要だと強く感じています。

当法人は、地域をより良くしたいという「志」を持つ個人や団体に対し、その事業アイデアが安全に、そして確実に離陸するための支援を行っています。特に、SX(サステナブルトランスフォーメーション)推進を軸とした革新的な事業創出や、次世代の地域経済を牽引する人材の育成に注力しています。学生、企業、行政など、多様な主体が交わり、知識や技術を共有する「共創の場」こそが「ソーシャル・イノベーション」を生み出す源泉です。

これからも、経営計画に沿った活動を通じ、持続可能で活力ある地域社会の実現に貢献することを約束するとともに、2026年度も未来を創り出す地域の挑戦者の皆様と共に、知恵を出し合い、真に活力ある未来を構築していくため、SX(サステナブル・トランスフォーメーション)を地域経済の実践へ落とし込む「変革の起点」となり活動してまいります。皆様の温かいご理解とご支援、そしてぜひ積極的な活動への参画を心よりお待ちしております。

### 特定非営利活動法人 Oita Social Innovation Laboratory

理事長：高木 厚次、副理事長：安部 慎次、山崎 美和、理事議長：後小路 舞、監事：江藤 彰悟



# 0. 法人概要



## 1. 法人名

特定非営利活動法人 Oita Social Innovation Laboratory  
(愛称、おしラボ。)

## 2. 設立年月日

2024年2月1日

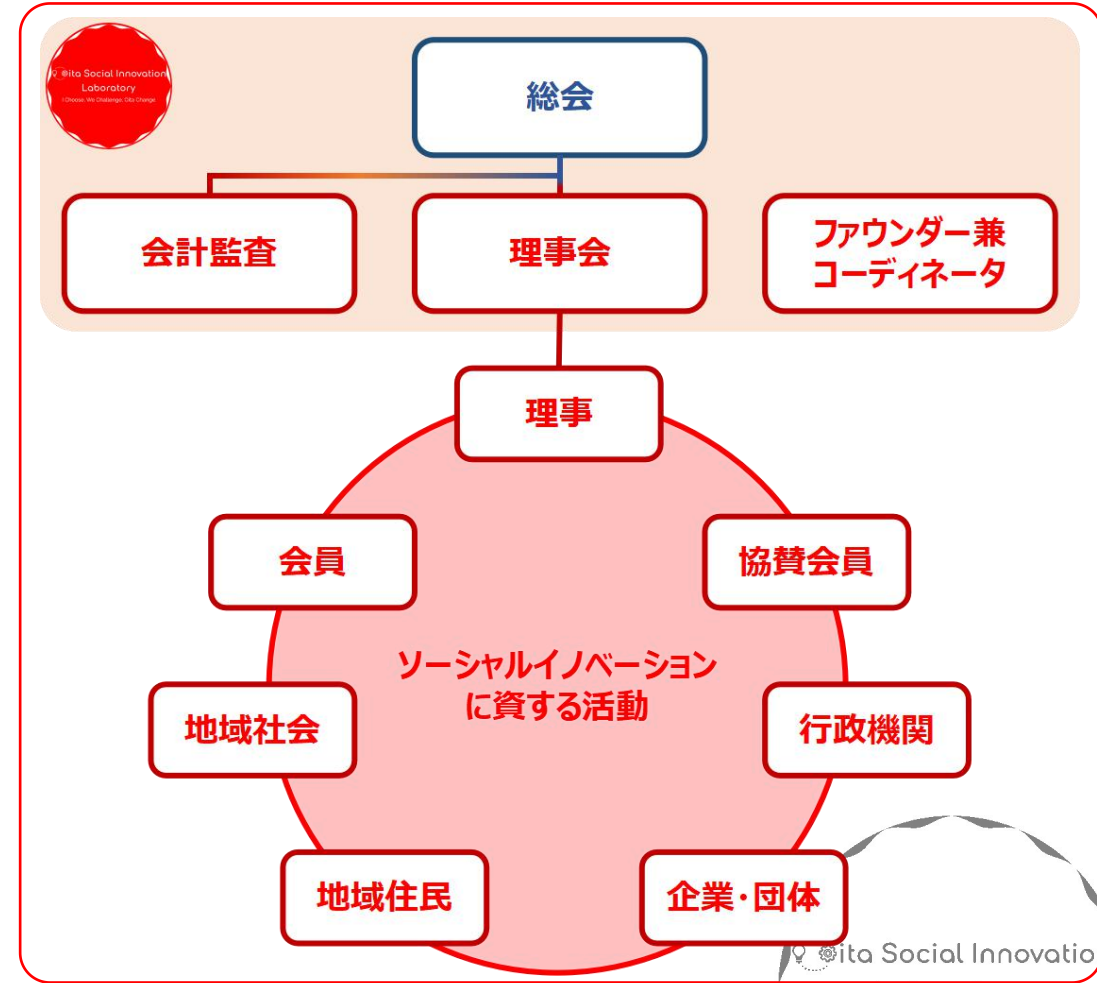
## 3. 会員総数 (2025年度末)

25名

## 4. 理事

No.	役職	氏名	本法人のサステナビリティ経営スキル・マトリクス			
			組織経営	事業経験	イノベーション	多様性
1	理事長	高木 厚次	○	○	○	
2	副理事長	安部 慎次	○	○	○	
3	副理事長	山崎 美和		○	○	○
4	理事議長	後小路 舞		○	○	○
5	監事	江藤 彰悟	○	○	○	○

## 5. 組織図



### 事業による公益の寄与 = 県内経済の発展

新規創業、雇用創出、域内消費の拡大、定住・移住の促進、地域経済エコシステムなど、またこれら好循環によるさらなるビジネスアイデア創出

# 1. 2025年度事業報告について

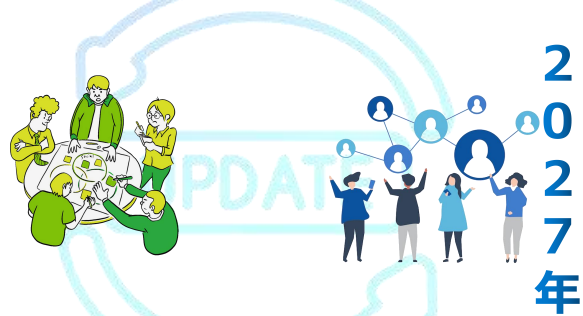


(1) 当法人の第一次長期経営計画は、「方向性(バックキャストिंग)」と行動計画(フォアキャストिंग)の両軸で設定。3年後の“あるべき”姿と目標(KGI&KPI)を中期経営計画(2025年度から2027年度の3年間)に落とし込み、2025年度は2つのテーマを基に目標を定め、取組むこととしています。

## テーマ①

超長期で地域に活力をもたらせる  
ビジネスアイデアを集合

2025年



2027年

## テーマ②

地域活性化を志す者の探索

目標：ビジネスアイデア等の実務検証(ビジネスコンテスト等で評価)

KGI・・・3年で3回ビジコンに出場 / KPI・・・各事業毎に1回ビジコン等に出場

### 3年後の“あるべき”姿

(取組) 全く新しいビジネスアイデアを創造、融合、「競争」の前に先ず「共創」できる“ヒト(会員)”、“モノ(環境)”、“コト(アイデア)”が揃っている状況。→「方向性(経営)」の安定性を確保

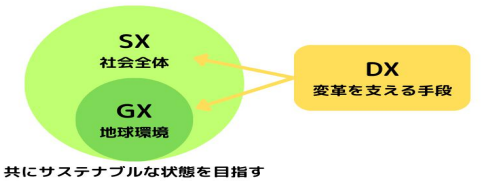
(結果) 安心して、これまでにない地域活性化ビジネスのデザイン、開発、テストの支援ができるようになる。  
→「行動計画(活動)」の推進力強化を担保

ソーシャルイノベーションに必要な革新的取組み(トランスフォーメーション)の成果物  
= SX(サステナブル・トランスフォーメーション)

社会のサステナビリティと企業のサステナビリティを「同期化」させていくこと  
及びそのために必要な経営・事業変革。(出典：経済産業省/伊藤レポート)

- ◆SDGsともに「持続的」という意味の言葉が包含。SDGsは持続的な社会、SXは持続的に稼ぐ力を指し、社会的価値と経済的価値という意味で違います。
- ◆GX(グリーン・トランスフォーメーション)はSXの一部であり、DX(デジタル・トランスフォーメーション)はSX/GXを推進する手段。

### SX・GX・DXの関係性



共にサステナブルな状態を目指す

©2023 SDGs media

目標：地域活性化をもたらすイノベーターやアントレプレナーなどをおしラボ。へ参画

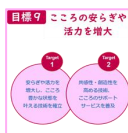
KGI・・・3年でおしラボ。会員が50名 / KPI・・・各事業毎に10名を参画

ミッション

事業による公益の寄与 = 県内経済の発展

新規創業、雇用創出、域内消費の拡大、定住・移住の促進、地域経済エコシステムなど、またこれら好循環によるさらなるビジネスアイデア創出

# 1. 2025年度事業報告について

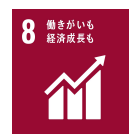


- (2) 取組状況は下表のとおり。中期経営計画「地域活性化をもたらすイノベーターやアントレプレナーなどをおしラボ。へ参画」するテーマ1年目の目標(KPI)対比▲1と未達成となりましたが、多様な会員が参加いただきました。
- (3) 「ビジネスアイデアの実務検証(ビジネスコンテスト等で評価)」は計2回実施し、目標(KPI)達成済。実務実証へ取り組む人に偏重の課題あり、来年度はより多くの人にビジネスコンテスト等へ出場できるよう改善が必要な状態です。

No.	大分県への報告/提出事項					おしラボ。内のみ	
	事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施予定日時 (B)当該事業の実施予定場所 (C)従事者の予定人数	(D)受益対象者の範囲 (E)予定人数	事業費の予算額 (単位：千円)	目標 (KPI)	達成状況
1	社会教育の推進を図る活動 (イノベーション人材の発掘・教育)	OitaイノベーターズコレジオのOBや新規参加者から本法人の対象となるイノベーション人材の発掘・教育を図る	(A)当該事業計画期間内において複数回実施 (B)コレジオ大分(大分市)およびインターネット上のコミュニティにて (C)4名	(D)当該コミュニティに参加する者 (E)100名を想定	10	<b>ヒト(会員)</b> イノベーション人材発掘・教育を通じ、最低10名をおしラボ。へ参画	<b>未達成</b> <b>実績9/目標_10</b> ※定性面において有望な会員(おいた共創士、若手経営者)が参画
2	経済活動の活性化を図る活動 (オープンイノベーション支援活動)	事業アイデアのデザイン、ブラッシュアップを図る。	(A)当該事業計画期間内において複数回実施 (B)コレジオ大分(大分市)およびインターネット上のコミュニティにて (C)4名～	(D)当該コミュニティに参加する者 (E)100名を想定	10	<b>コト(アイデア)</b> デザイン、ブラッシュアップした事業アイデアをもとにビジネスコンテスト等に最低1回出場	<b>達成済</b> <b>実績_2/目標_1</b> ※出場者に偏重の課題あり。より多くのリーダー(フォロワー)の排出が必要
3	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	調査・研究	本事業年度中の実施予定無	-	-	-	
4	前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	事業準備(戦略立案)	本事業年度中の実施予定無	-	-	-	
5	前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動	事業準備(戦略立案)	本事業年度中の実施予定無	-	-	-	

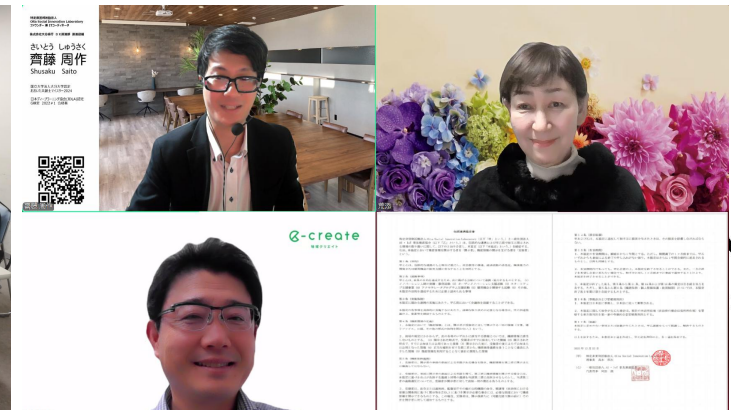


## 2. 活動状況（下期サマリー）について

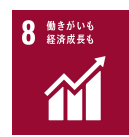


2025年10月1日(水) から 2026年3月31日(火)までの活動内容は下記のとおりです。

No.	活動内容	日時・場所など		備考
1	大分県内の大学へ当法人の説明を実施	2025/11/7	大学構内	
2	行政、地域金融機関、当法人による大分ホーバーターミナル(ホボッタ)のにぎわいづくりディスカッション	2025/12/3	場所は非開示 (大分市内)	
3	OIC最終回(兼交流会)	2025/12/14	コレジオ大分	
4	一般社団法人AI・IoT普及推進協会(AIPA)と包括連携協定を締結	2025/12/22	—	
5	大分県内の大学に向け、AIPA・当法人による社会課題解決に向けた教育コンテンツの提供について説明	2025/12/24	Web会議	
6	地域住民、行政、地域金融機関、代議士など、合同フィールドワーク、プレスト、地域活性化施策の企画	2026/1/11	場所は非開示 (日田市内)	
7	当法人理事・会員によるOICクロージングに伴う意見交換会	2026/1/14, 1/28	Web会議	
8	金融機関、大分県内の大学、AIPAを交えた情報交換会実施	2026/3/16	場所は非開示 (大分市内)	



# 3. 2026年度の活動と計画について



- (1) 活動計画は下表のとおり。中期経営計画に則り、2年目の目標(KPI)達成のためNo.1、No.2は継続実施いたします。
- (2) 新たにNo.3は大分県内の大学、AIPAとのコラボレーション企画が予定されており、今年度より活動を開始予定としています。  
(ただし中期経営計画上の目標には平仄を合わせない方針としています)

No.	大分県への報告/提出事項					おしラボ。内のみ	
	事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施予定日時 (B)当該事業の実施予定場所 (C)従事者の予定人数	(D)受益対象者の範囲 (E)予定人数	事業費の予算額 (単位：千円)	目標 (KPI)	特記事項
1	社会教育の推進を図る活動 (イノベーション人材の発掘・教育)	Oitaイノベーターズコレ ジオのOBや新規参加 者から本法人の対象と なるイノベーション人材 の発掘・教育を図る	(A)当該事業計画期間内において 複数回実施 (B)コレジオ大分(大分市)および インターネット上のコミュニティにて (C)4名	(D)当該コミュニティに 参加する者、興味を 持つ者を対象 (E)100名を想定	10	<b>ヒト(会員)</b> イノベーション人材発 掘・教育を通じ、最低 10名をおしラボ。へ参 画	総合的な評価は定量面(10名) も大切だが、参画する会員の 定性面も重視したい
2	経済活動の活性化を図る活動 (オープンイノベーション支援活動)	事業アイデアのデザイン、 ブラッシュアップを図る。	(A)当該事業計画期間内において 複数回実施 (B)コレジオ大分(大分市)および インターネット上のコミュニティにて (C)4名～	(D)当該コミュニティに 参加する者、興味を 持つ者を対象 (E)100名を想定	10	<b>コト(アイデア)</b> デザイン、ブラッシュアッ プした事業アイデアを もとにビジネスコンテス トに最低1回出場	評価は回数(最低1回以上出場) も大切だが、より多くの会員にチャ レンジを促すことに注力したい
3	職業能力の開発又は雇用機会の 拡充を支援する活動	県内外組織と連携し、 調査・研究を加速	(A)当該事業計画期間内において 複数回実施 (B)コレジオ大分(大分市)および インターネット上のコミュニティにて (C)4名～	(D)当該コミュニティに 参加する者、興味を 持つ者を対象 (E)100名を想定	10	<b>【該当なし】</b> 目標は設けないが、 都度理事向けに 報告を行う	—
4	前各号に掲げる活動を行う団体の 運営又は活動に関する連絡、助言 又は援助の活動	事業準備(戦略立案)	本事業年度中の実施予定無	—	—	—	—
5	前各号に掲げる活動に準ずる活動 として都道府県又は指定都市の条 例で定める活動	事業準備(戦略立案)	本事業年度中の実施予定無	—	—	—	—



End of Presentation

撮影場所：大分県大分市佐賀関(大字関小黑)